

経済学研究科 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

1. 経済学研究科の目的

今日経済社会の急速な変化とともに、深い学識にもとづいた高度な分析力や判断力に対する社会的ニーズが高まっています。本研究科の目的は、経済社会の発展に向け、修得した専門的知識や技術を活用して、未来を自らの力で切り拓き地域と世界で活躍できる人材を育成することにあります。本研究科は、企業や官庁等の組織において優れた分析能力に基づいて戦略的意思決定を担う高度な専門的職業人、及び厳密な学問方法論や幅広い見識を身につけた研究職従事者を養成するとともに、一層のキャリア・アップを目指す社会人・職業人や将来諸外国との架け橋となるべく期待される留学生を積極的に受け入れ、それらに相応しい専門教育を提供します。

経済学専攻

経済学専攻は、社会に生起する経済問題を専門的学識に基づいて深く理解・分析し、同時に政策的な処方箋を示すことで実践的問題解決を果たしうる人材の養成を目指しています。そうした人材を養成するために、本専攻の教育目的は、次のような諸能力の涵養に置かれます。

- (1) ミクロ・マクロにわたって経済システムに関する理論的・原理的理解を深め、数量把握を含めた高度な分析ツールを身につけるとともに、経済問題を幅広い視野から認識しうる能力
- (2) 実践的な政策や処方箋を案出し、それらの有効性や政策相互の関連性を検証できる能力
- (3) 財政・金融・統計といった経済事象の諸領域について、経済理論を適用・応用しつつ、同時に地域や時代の特性を考慮しながら、具体的な分析を行いうる能力

本専攻は、企業や官庁などで経済問題に関する専門的な調査・分析・企画能力を発揮する人材やシンクタンク等でエコノミストとして活躍しうる人材とともに、地域経済の実情を理解し地域社会に貢献しうる人材、及び海外経済事情に精通し地球規模の経済問題を解決しうる人材の育成を目指します。

経営学専攻

経営学専攻における教育目的は、会社組織に代表される様々な組織体が直面する経営上の課題の発見・解決を実践できる人材、あるいはそれを学問・理論的な側面から分析できる人材の養成にあります。そこから本専攻の研究目的も、実践の場と学問の場を結びつけることで、それぞれの場に新たな「知」を提供することに置かれます。

課題の発見・解決に当たっては、経営学、会計学、及び情報学にかかわる幅広い見識と豊かな感性が必要です。より具体的には、次の諸点に関する理解が必須となります。

- (1) 企業社会における意思決定メカニズムや経営戦略・組織構造の在り方
- (2) 会計情報の作成や会計的技法の企業経営への適応
- (3) 情報処理技術を駆使した社会・産業システムの分析や経営管理

本専攻は、こうした理解を全般的に身につけつつ、同時にいずれか特定の分野について高度な専門的実践能力を磨くことによって、企業経営を理論的・実践的にリードしうる人材の養成を目指しています。

市場環境学専攻

市場環境学専攻は、経済社会の核であり要をなす市場及びそれを取り巻く諸環境を多面的・総合的に考察することを目的とし、それを通じて市場についての深い理解と分析能力を持つ人材の養成を目指しています。本専攻は、市場環境について次の諸側面にわたって考察します。

- (1) 物財市場を結び付け躍動させるとともに、それら自体が巨大な市場をなす流通及び信用システム
- (2) グローバルに展開する市場の各領域及び各機能を取り巻く経済環境の特質
- (3) 現実の市場機能を反映するとともに、その円滑な作動を保障する関係法律体系

本専攻の人材養成に関する目的は、まず企業や政府等の組織において市場調査、市場の組織運営、市場の公正な活動維持などに寄与できる人材、すなわち市場アナリスト、マーケティング従事者、国際的な証券・為替市場で業務を行う人材等を養成することです。また市場を熟知した法律家や税理士といった高度な資格を有する専門家を養成します。

2. 求める学生像

本研究科では、上記のような教育目的に基づき、次のような人を求めます。

- (1) 経済社会への関心とその学修を可能にする基礎的な知識・技能を備えている人。大学院における専門分野の研究を通じて高度な専門知識と学際性に基づく応用的能力（思考力・判断力等）を身につけ、多様な人々と協働し自ら先導して経済社会の課題を認識し解決に取り組もうとする意欲を持つ人。修了後に関連分野において指導的役割を果たすことを希望している人や、わが国との懸け橋になりたい留学生。
- (2) 社会でのキャリアと専門的な知識・技能を備えている人。それに基づいて大学院における専門分野の研究を行い、高度な専門知識と学際性に基づく応用的能力（思考力・判断力等）を身につけ、多様な人々と協働し自ら先導して経済社会の課題を認識し解決に取り組もうとする意欲を持つ人。修了後に関連分野においてより一層のキャリア・アップを目指すことを希望している人。

3. 入学者選抜の基本方針

本研究科では、一般入試のほか、社会人特別入試、私費外国人留学生特別入試を設けることで、一層のキャリア・アップを目指す社会人や、留学生を積極的に受け入れます。

- (1) 一般入試では、面接により、志望研究科目に関する学問的基礎知識や、経済社会への関心・学修意欲・研究の構想・修了後の希望進路を含む進学のための目的意識等を総合的に判定します。
- (2) 社会人特別入試では、面接により、社会で培ったキャリアや、志望研究科目に関する学問的基礎知識・経済社会への関心・学修意欲・研究の構想・修了後の希望進路や関連分野におけるキャリア・アップの構想を含む進学のための目的意識等を総合的に判定します。
- (3) 私費外国人留学生特別入試では、面接により、日本語によるコミュニケーション能力や、志望研究科目に関する学問的基礎知識・経済社会への関心・学修意欲・研究の構想・修了後の希望進路を含む進学のための目的意識等を総合的に判定します。